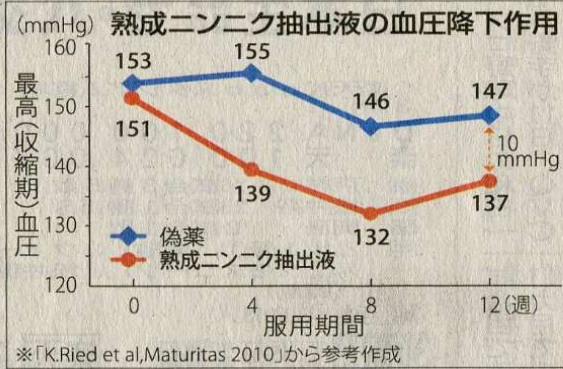


# 連続服用で血圧降下作用



国内で約4300万人の患者がいると推計される高血圧。放っておくと動脈硬化から脳梗塞や心筋梗塞などの病に至る可能性が高まっていく。高血圧が起因の死亡者数は推定年間10万人にものぼる。その血圧を下げる効果が熟成ニンニク(生ニンニクを約2年間熟成させ、刺激・臭いを低減したもの)抽出液にみられるという研究成果を、オーストラリア統合医療研究所のカレン・リード博士が湧永製薬の60周年記念式典で発表した。

## 熟成ニンニク抽出液

結果、熟成ニンニク抽出液を服用した被験者で試験開始時の最高血圧が140 mmHg以上のグループは、偽薬服用に10 mmHgの差を低減させた。

研究は処方箋薬を服用しても血圧を調整できていない高血圧患者を対象とした。まず、血圧降下作用について、平均年齢66歳の男女50人(最高血圧130 mmHg以上)を2グループに分け12週間試験を行った。半数の25人は熟成ニンニク抽出液を1日4カプセル(960 mg)、もう一方には本物と大きさ・色・においが同じ偽薬を同量服用させた。

研究は処方箋薬を服用しても血圧を調整できていない高血圧患者を対象とした。まず、血圧降下作用について、平均年齢66歳の男女50人(最高血圧130 mmHg以上)を2グループに分け12週間試験を行った。半数の25人は熟成ニンニク抽出液を1日4カプセル(960 mg)、もう一方には本物と大きさ・色・においが同じ偽薬を同量服用させた。

リード博士は「生のニンニクは食べ過ぎると貧血や胃の粘膜を傷めるなどの副作用がある。熟成ニンニク抽出液などの加工品やパウダー、オイル、ローストしたものを摂取する」と話す。

熟成ニンニク抽出液を2あるいは4カプセル服用したグループの血圧が、偽薬服用に比べ大きく低下した。

さらに、熟成ニンニク抽出液の服用量による効果についても試験を行った。平均年齢70歳の男女79人(最高血圧140 mmHg以上)を被験者とし、熟成ニンニク抽出液を、1日あたり1(240 mg)、2(480 mg)、4(960 mg)カプセル服用する3グループと、本物と大きさ・色・においが同じ偽薬を、1日に1、2、4カプセル服用する3グループに分けて、12週間変化を調べた。

(宇山公子)

# この熟成ニンニク抽出液が、レオピンの主成分:AGE

のこです♪



## レオピンの特許主成分:AGE と、他のニンニク熟成成分との違いご存知ですか?

他のニンニク製剤には認められていない、レオピン特有の成分が多々存在します。

生ニンニクにはほとんど存在しない成分(Sアシルシステイン等)、他の熟成ニンニク成分には含まれずレオピンのみ認められている成分(フルクトシルアルギニン、テトラヒドロ-β-カルボリン類等)があります。

ツルが薬局のレオピンは、世界に一つだけのオリジナル素材、世界中で飲まれている有効栄養剤です。